

「グリーン」×「デジタル」による「ポストコロナ新時代」へ！ 総合戦略第2幕を進化！



徳島は宣言する
VS 東京

項目

1 「産学官金労言」で推進！「地方創生“拳県一致”協議会」

2 「vs東京『とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～」＜概要＞

（1）改定の背景

（2）改定の概要

▶【基本目標1】ひと ～ 「未来を担うひとの流れ」づくり～

▶【基本目標2】しごと ～ 地域を支える「魅力的なしごと」づくり～

▶【基本目標3】子育て ～ 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり～

▶【基本目標4】まち ～ 安全・安心「持続可能な社会」づくり～

3 市町村版「総合戦略」推進を支援！

1 「産学官金労言」で推進！「地方創生“拳県一致”協議会」

i 県を挙げた「総合戦略」の取組み

地方創生“拳県一致”協議会（H27.1.30発足）

「産学官・金労言」の各界代表者からなる
「地方創生の実現」に向けた取組みの推進母体（委員36名）

【主な役割】

- 「地方版総合戦略」の推進
- 「『住んでみんなで徳島で！』県民会議」の行動
- 国へのタイムリーな政策提言 等



ii 検証と改善

「KPI」を基に、「PDCAサイクル」による検証と改善を実施

総合戦略を推進

PLAN（計画・改訂）

「地方創生“拳県一致”協議会」や県議会による
論議、県民意見を聴取の上、計画策定

DO（実施）

「総合戦略」に示した具体的な施策・事業を遂行

ACTION（改善）

外部有識者による評価結果を踏まえ、
施策の見直しや「総合戦略」の改定

CHECK（評価）

担当課による自己点検・評価及び
「県政運営評価戦略会議」による第三者評価

2 「vs東京『とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～」 <概要>

4つの基本目標

【基本目標1】

「未来を担うひとの流れ」づくり

目 標

- 転入・転出者数 : 2030年均衡へ
(ア)「住みたい・つながりたい」を実現！「とくしま回帰」の推進
(イ)次代の地方創生を担う人材の育成
(ウ)「とくしま回帰」を呼び込む拠点の更なる確保

【基本目標2】

地域を支える「魅力的なしごと」づくり

目 標

- 雇用創出数 : 5年間で5,000人
(ア)未来につながる「地域産業」の実装
(イ)世界に誇る「とくしまブランド」の強力展開
(ウ)好機をとらえた観光誘客の更なる推進
(エ)未来を切り拓く「ひと」づくり

【基本目標3】

結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり

目 標

- 希望出生率 : 1.8 (2025年)
(ア)多様な希望をかなえる「きめ細やか」で「切れ目のない」支援
(イ)多様な希望に寄り添った「子育て環境」の実現
(ウ)きめ細やかに手をさしのべる社会の実現

【基本目標4】

安全・安心「持続可能な社会」づくり

目 標

- Society5.0の実装に向けた取組件数 : 5年間で25事例
(ア)DXの推進・「Society5.0」の実装
(イ)グリーン社会の実現・「SDGs徳島モデル」の実装
(ウ)全世代・全員活躍「ダイバーシティとくしま」の実現
(エ)安全・安心を実感！「皆が笑顔で暮らせる」社会づくり
(オ)地方創生の礎「強靱とくしま」の実現



「PDCAサイクル」による検証と改善！

情勢の推移を踏まえ、追加・拡充！

“進化する”総合戦略！

全世代の人々が輝く「持続可能な社会」の実現

(1) 改定の背景

① コロナ禍による意識・行動の変容

【デジタル化の進展】

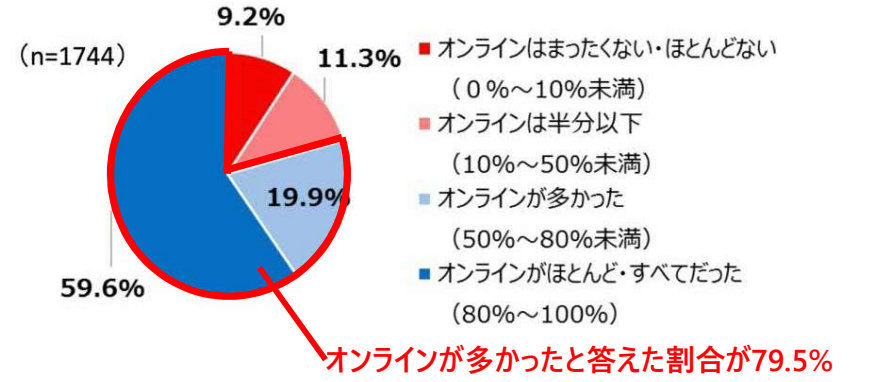
○オンライン授業の機会の増加

・R2年度後期も、約8割の学生が「対面授業よりオンライン授業の割合が多い」と回答

○テレワークの恒常化

・R3.12月の都内企業テレワーク実施率**59.0%** (前年同月比+5%)となり、感染減少傾向期においても、テレワークが定着

オンライン授業の割合 (令和2年度後期) ※択一選択



【サステナブル意識の高まり】

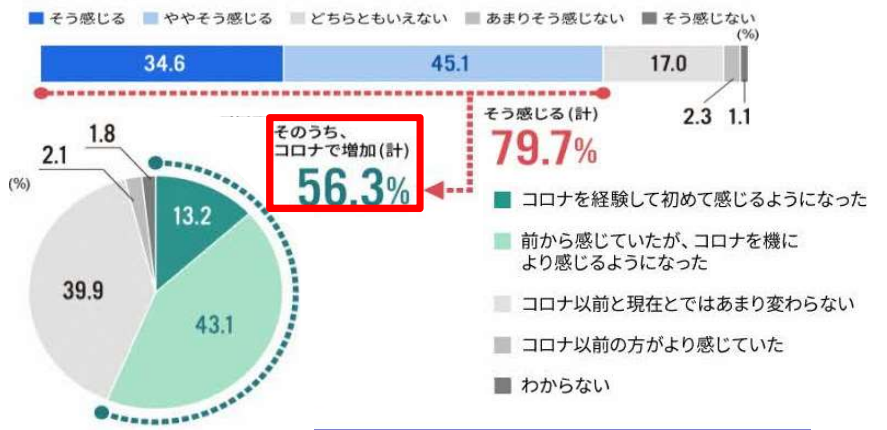
○持続可能性についての関心の高まり

・地球や社会の「持続可能性」について考える必要があると回答した人のうち、コロナを機に増加した割合が**56.3%**

○企業のSDGs志向の高まり

・コロナを機に持続可能な開発目標 (SDGs) 課題解決の取り組みを一段と進めると回答した企業は全体の**8割**

Q. 地球や社会の“持続可能性(将来も問題なく続いていくこと)”について、真剣に考える必要がある



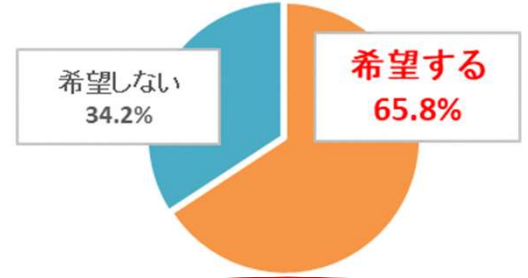
【地方回帰志向の高まり】

○学生の地方での就職希望の高まり

・Uターンや地方での就職を希望する学生が**65.8%** (2020年9月) (同年6月調査の36.1%から「+29.7ポイント」の大幅増)

○東京在住者の地方移住への関心の高まり

・地方移住に興味がある人のうち、新型コロナの影響で、テレワークなどの柔軟な働き方が可能になったため、興味をもったと答えた人が全体の**43.4%**



同年5月調査の36.1%から「+29.7ポイント」の大幅増

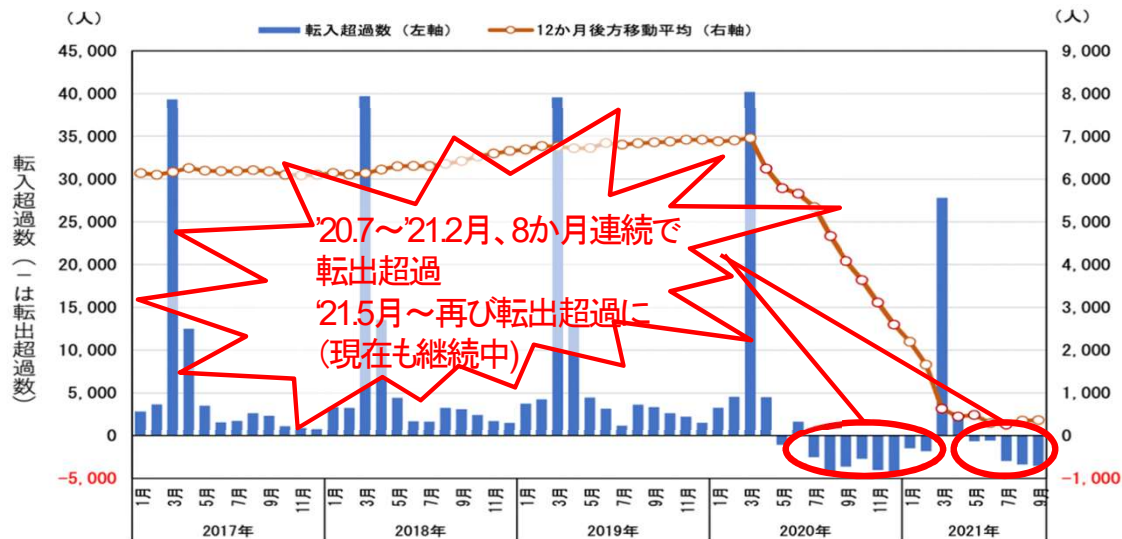
(1) 改定の背景

② コロナ禍による価値観の変容を受けた「東京一極集中」の減速

東京圏の転入超過数の推移(2014年度～2020年度)



東京都の月別転入超過数(2017年1月～2021年9月)



【首都圏・本社移転動向】 (帝国データバンク調べ(2021年1-6月間速報))

- ・2021年1-6月間に首都圏外へ本社移転した企業数は186社で、6月時点で150社超となったのは過去10年で初
- ・このペースが今後も続いた場合、首都圏外への移転数は、過去最多となるとともに、11年ぶりの転出超過が予想される



「東京一極集中」が減速！「地方回帰」の流れ！

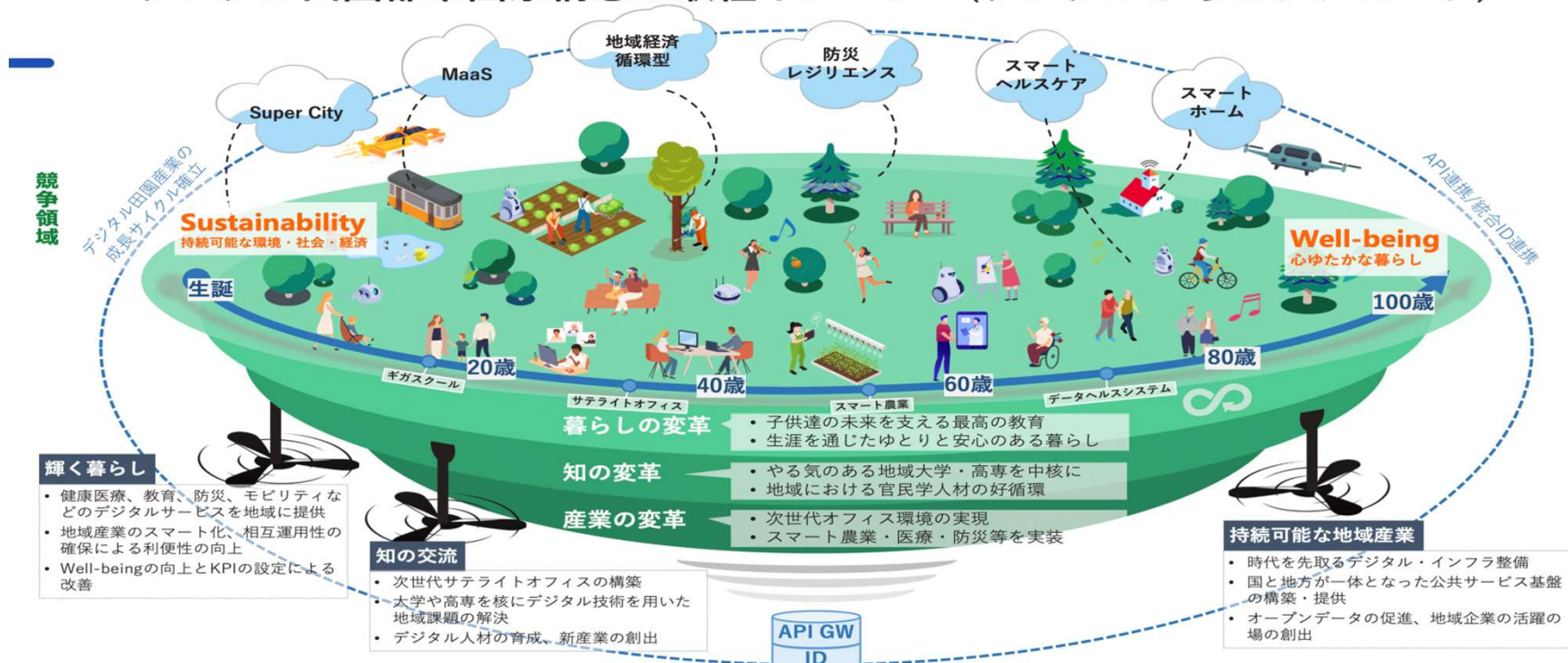
③ 「ポストコロナ新時代」に向けた地方創生第2幕の取組み

国における「デジタル田園都市国家構想」の推進

デジタル田園都市国家構想の目指すべきもの

- 地域の「暮らしや社会」、「教育や研究開発」、「産業や経済」をデジタル基盤の力により変革し、
- 「大都市の利便性」と「地域の豊かさ」を融合した「デジタル田園都市」を構築。
- 「心ゆたかな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現。

地方の魅力をそのままに、都市に負けない利便性と可能性を デジタル田園都市国家構想の取組イメージ (デジタルからのアプローチ)



「デジタル田園都市国家構想」実現に向けた提言

「デジタル田園都市国家構想」実現へ 徳島からの提言－3つのポイント－

「デジタル社会」を地域から具現化！

5Gはじめ「光ブロードバンド」環境のユニバーサル化を図り、
「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を実装・加速化！

「グリーン社会」を地域から具現化！

脱炭素社会の推進へ、「再生可能エネルギー」導入をはじめ
「GX（グリーントランスフォーメーション）」を実装・加速化！

「新次元の分散型国土」創出を！

「DX」「GX」により、「人」を呼び込み、「地域」と結びつけ、
「日本のSDGs」を地方からリード！

「デジタル田園都市『徳島』進化パッケージ」の展開

「グリーン」×「デジタル」による「ポストコロナ新時代」へ！総合戦略第2幕を進化！

－ 3つの国難 －

新型コロナ

人口減少

災害列島

R2～ vs東京「とくしま回帰」総合戦略【第2幕】

まち

ひと

しごと

子育て

R4～「デジタル田園都市『徳島』進化パッケージ」

G X

学び

働き

暮らし

D X

「新次元の分散型国土」を徳島から創出！

ポストコロナ
新時代へ！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

令和4年度「地方創生・第2幕」関連予算【609億円】

令和4年度当初 548億円
 令和3年度2月補正 54億円
 令和3年度11月補正 7億円

「地方創生」を牽引！「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」第2幕の着実な推進！

(主な事業) 総合戦略4本柱「ひと」「しごと」「子育て」「まち」関連施策を展開！

ひと ～「未来を担うひとの流れ」づくり～

世界へ発信！消費者政策「国際拠点化」推進事業(危機)	31,300千円
アワーケーション拡大強化プロジェクト(政創)	23,000千円
青少年センター開館記念事業(未来)	5,300千円
みんながインフルエンサー！四国の右下シビックプライド醸成事業(南部)	12,200千円

しごと ～地域を支える「魅力的なしごと」づくり～

とくしま文化・未来創造事業(未来)	30,000千円
プロフェッショナル人材戦略拠点事業・プロフェッショナル人材確保支援費(商工)	49,720千円
とくしま林業アカデミープラス人材育成強化事業(農林)	185,350千円
DMV阿佐東線モード・チェンジ事業(県土)	10,000千円

子育て ～結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり～

とくしま子育てはぐみ応援推進交付金事業(未来)	31,500千円
保育士養成施設に対する就職促進支援事業(未来)	1,870千円
ヤングケアラー支援事業(未来・保福・教育)	6,915千円
ダイバーシティ実現！育休推進事業(商工)	2,150千円

まち ～安全・安心「持続可能な地域社会」づくり～

事前復興・地域マイクログリッド融合事業(危機)	5,000千円
ダイバーシティとくしま推進事業(未来)	4,000千円
チャレンジ！健康寿命アップ事業(保福)	13,816千円
空き家スマート化リノベーション促進事業(県土)	19,200千円

「デジタル」×「田園(グリーン)」＝「デジタル田園都市国家構想」を具現化する徳島の先駆的取組みを更に進化！

「デジタル田園都市『徳島』進化パッケージ」の展開！

うち296億円

地域の「学び」「働き」「暮らし」をDXとGXの相乗効果により変革し、デジタル田園都市「徳島」を進化させ「徳島版SDGs」を実装！

DX

学び

DXを活用した私立学校魅力向上推進事業(経戦)	40,000千円
GIGAスクール運営支援センター整備事業(教育)	143,783千円
大阪・関西万博魅力発信体制構築事業(政創)	41,268千円

働き

サテライトオフィス誘致促進事業(政創)	12,000千円
徳島観光デジタルマーケティング推進事業(商工)	105,000千円
DXで成長！「スマート農林水産業」の加速化(農林)	217,540千円

暮らし

「5G遠隔医療」地域連携事業(政創・保福・病院)	89,000千円
人に寄り添う「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム」運営事業(政創)	12,800千円
道の駅等を拠点とした自動運転サービス導入促進事業(県土)	15,000千円

GX

とくしまGXスクール推進事業(教育)	5,500千円
新時代「特別支援学校SDGs」創出事業(教育)	11,000千円
「水素立県とくしま」普及促進事業(危機)	13,000千円

「転職なき移住」をリード！「サステナブルワークスタイル」の創出(政創)	33,000千円
ものづくり企業GX推進事業(商工)	15,500千円
GXで実現！「サステナブル農林水産業」の加速化(農林)	109,700千円

ゼロカーボンシティ推進事業(危機)	28,000千円
公共交通グリーンチャレンジ事業(県土)	888,000千円
「徳島・にし阿波」農泊・移住交流促進事業(西部)	4,000千円

「ポストコロナ新時代」に到来するSDGsを実装！「新次元の分散型国土」を徳島から創出！

【基本目標1】ひと ～「未来を担うひとの流れ」づくり～

● 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】



<ターゲットごとの戦略的・移住交流の推進>

- 「若者」「女性目線」「大阪圏」の視点での取組みを充実・強化し、「情報発信」→「移住相談」→「魅力実感」→「移住実現」の各ステージにおける移住支援施策の“切れ目のないサポート”を展開

【移住者数（累計）：（'18）1,402人 → （'24）1,900人】

【「とくしま若者回帰アンバサダー」委嘱者数（累計）：（'18）－ → （'24）120人】



「とくしま若者回帰アンバサダー」委嘱式

<新たな地域の担い手「徳島ファン」の創出・拡大>

- 「徳島ファン」を掘り起こし、多様な人材のスキルと、市町村が有する課題とのマッチングを図るための多様な取組みを展開

【関係案内所での交流イベント参加者数（累計）：（'18）－ → （'24）250人】

【「徳島ファンバンク」へのファン登録者数（累計）：（'18）－ → （'24）60人】

【あわっ子文化大使・高校生サポーターの活動参加人数：（'18）130人以上 → （'24）130人以上】



「徳島ファン」マッチングサイト

● R4 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

- 「サステナブルワークスタイル」の活用推進

“複”業やワーケーションの推進により、都市部人材の「スキルやノウハウ」を「地域経済の活性化」や「地域づくりや社会活動」に活用し、新たな人の流れを創出

【県内企業・団体での「複業人材」活用マッチング数：（'18）－ → （'24）55人】



ワーケーションイメージ

- 万博を契機とした「人の流れ」の創出及び次代の人材育成を通じたSDGsの実装

万博を契機に、先駆的な未来技術等の発信による新たな「人の流れ」の創出や、子どもたちに未来社会の夢を実感してもらい、次代を担う人材の育成を図ることで、「徳島版SDGs」の実装へと繋げることを目的として基本計画を策定し、取組みを推進

【とくしま万博基本計画（仮称）の策定・推進：推進（－）】



万博会場イメージ

提供：2025年日本国際博覧会協会

● 主な施策 【重要業績評価指標 (KPI)】



＜世界に通じる地域イノベーションの創出＞

- 地方大学・地域産業創生事業により、次世代LED等を活用した新製品を開発し、県内の光関連産業の活性化を図ることで雇用創出を推進

【重要業績評価指標 (KPI)】
【重要業績評価指標 (KPI)】

【重要業績評価指標 (KPI)】
【重要業績評価指標 (KPI)】

※工業統計調査(経済産業省)による従業者数



ポストLEDフォトニクス研究所

＜農林水産業の成長産業化＞

- 県内木材需要の拡大を図るため、県産材の利用拡大や、幅広い世代の方々に木材利用の意義を知ってもらう「木育」を推進し、県民総ぐるみの木づかい運動を展開

【重要業績評価指標 (KPI)】
【重要業績評価指標 (KPI)】



木のおもちゃ美術館

● R4 主な施策 【重要業績評価指標 (KPI)】

- 「徳島発GX」による「持続可能で競争力のある農林水産業」の実現

地球温暖化対策として、環境負荷を軽減する「緩和策」及び気候変動の影響を回避・軽減する「適応策」両輪での新技術開発、新ブランド創出等に取り組む。

【重要業績評価指標 (KPI)】
【重要業績評価指標 (KPI)】



持続可能で競争力のある
農林水産物の開発

- DMVを核とした誘客促進

世界初となる「DMV」の本格営業運行を契機に、県南への観光誘客を促進するため、(一社)四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道(株)など関係機関と連携し、魅力ある観光コンテンツの開発やプロモーションを推進

【重要業績評価指標 (KPI)】
【重要業績評価指標 (KPI)】



DMV本格営業開始



●主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

＜不安・悩みを解消「子育てトータルサポート」の強力展開＞

- 不妊治療をしている方への助成制度の周知・活用推進を図りつつ、若い世代に対して、妊娠・出産等の正しい知識の普及啓発を行う

【研修会の参加人数（累計）：（'18）145人 → （'24）260人】



徳島県こうのとりのり応援事業

＜「子育て」を応援する職場環境づくり＞

- 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備に向け、周りの人や子育て支援サービス、ツールなど保護者を取り巻く周囲に頼りながら楽しみを感じつつ行う育児（チーム育児）を普及推進

【チーム育児応援企業数（累計）：（'18）－ → （'24）50事業所】



チーム育児イメージ

●R4主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

- 「マリッサとくしま」を拠点とした結婚支援

令和3年11月に移転・リニューアルオープンした「マリッサとくしま」を拠点として出逢いの機会提供や、市町村・企業等と連携した取組やオンライン婚活を推進

【結婚支援拠点が管理する男女の出逢いの場等への参加者数（累計）：
（'18）4,362 → （'24）13,000人】



マリッサとくしま

- 県内企業への「スマートワーク」導入支援

「スマートワーク支援サイト」によるICTツールの情報提供やオンラインによる技術支援の実施により、県内企業の働き方改革を加速

【県内でテレワークを実施する事業所数（トライアル実施含む）（累計）：
：（'18）72事業所 → （'24）155事業所】



オンライン技術支援イメージ

● **主な施策【重要業績評価指標（KPI）】**

＜人生100年時代「健康寿命先進県」の実現＞

- アクティブシニアが主役となる「フレイルサポーター」を養成し、県民総ぐるみによる「フレイル予防作戦」を展開
また、アクティブシニアが集落の活力維持のために積極的に取り組む「アクティブシニア集落」を認定し、活躍を推進

【重要業績評価指標】フレイルサポーター数：（'18）→（'24）300人

【重要業績評価指標】過疎地域等におけるアクティブシニア集落の認定数（累計）：（'18）→（'24）10集落

＜道路交通ネットワークの機能強化＞

- 近畿及び四国内の交流基盤であり、「命の道」となる四国横断自動車道（徳島JCT～阿南間）の整備を促進

【重要業績評価指標】四国横断自動車道（徳島沖洲～阿南間）の整備：（'22）工事促進中

（（'20）徳島沖洲～徳島津田間の供用（工事促進中））

● **R4 主な施策【重要業績評価指標（KPI）】**

- 「**県版・脱炭素ロードマップ**」の推進

県の地球温暖化・脱炭素対策を戦略的に推進するため、令和3年12月に策定した「県版・脱炭素ロードマップ」に基づき、「2050年カーボンニュートラル」実現に極めて重要な「2030年度目標」達成を確実にする各種施策を推進

- 「**徳島医療コンソーシアム**」間における**5G遠隔医療**の展開

県全域で病院間相互連携を図る「徳島医療コンソーシアム」参加医療機関において、5G遠隔医療システムを展開し、地域医療の支援体制を拡充

【重要業績評価指標】「徳島医療コンソーシアム」参加医療機関における5G遠隔医療の展開：（'22）推進



フレイルサポーター養成



吉野川サンライズ大橋



移動式水素ステーション



5G遠隔医療

3 市町村版「総合戦略」推進を支援！

財政的支援

国

- **地方創生推進・拠点整備交付金**
(地方の創意工夫を凝らした取組みや、地域観光振興の先導的な拠点整備を支援)
- **デジタル田園都市国家構想推進交付金**
(デジタル技術の活用により、持続可能な経済社会を目指す取組を支援)

県

- **徳島県集落再生加速化支援費補助金など**
(市町村や民間事業者等の意欲的な取組みへの支援を充実・強化)
- **地方創生推進資金（貸付金）**
(県独自で、市町村の総合戦略の推進に資する取組みを支援)

人的支援

- 県職員が各市町村の**カウンターパート**となる
市町村との**ワンストップ型**の連絡相談体制（H27.1構築）
- 市町村の希望に応じ、**総合戦略の「PDCA」にも参画**

情報支援

- **地域経済分析システム（リーサス）**の活用実践に向けた情報提供・助言

「徳島県全体で成果の好循環」を生み出すよう、引き続きしっかりとサポート！

新時代における
「持続可能性の高い地域づくり」を
挙県一致で、徳島から実現！

新たな“価値観”

新たな“処方箋”



地方創生のさらなる進化を加速化！
挙県一致で「地方創生」の実現へ！